

新城市民病院の地域医療研修では、主に総合診療科として初診外来、救急外来、入院患者の管理をさせていただきました。豊橋市民病院の救急外来では、ひとまず緊急疾患を除外し、診断のために問診や身体診察よりも血液検査や画像検査などの検査所見を重視してしまうことが多々ありました。しかし、新城市民病院では、詳細な問診を行い、丁寧に身体所見をとることで、適切なプロブレムリストを挙げ、そこから何を疑いどのような検査をするのかしっかりと考えさせていただき、今まで自分が行ってきた診療を見つめ直すことができました。

またその判断について、すぐにフィードバックをいただき、さらに夕方のカンファレンスで振り返りをさせていただくことで、適切な診察を行い、必要十分な検査を考えることがいかに難しく幅広い知識を必要とするのかがわかりました。最初はそのような診療に慣れないこともあり、スムーズに進めることができないこともありましたが、日々成長するのを実感することができました。他にも生活習慣病、健康診断異常に対する生活指導、患者教育や、心理社会的な側面へのアプローチなど今まであまり深く介入してこなかった部分についても勉強させていただきました。

毎朝の勉強会、EBM 勉強会、up to date 勉強会、症例検討会では、先生方とともに常に最新の医学的知識を取り入れることができ、非常に刺激的であり、最善の医療を提供しようと心がける熱意を感じました。

作手診療所では、僻地医療がどのようなものか実感しました。限られた医療資源のなかでよりよい医療を行うために、患者さんの話に傾聴しているのが印象的で、病気だけではなく患者を診るということを実践しているように思いました。しんしろ助産所では、産科の医師がいないなかでどのように妊婦さんが安心して出産できる場を作るか、地域での助産師の役割や他病院との連携について教えていただきました。

また今回の研修では、患者の退院後にも目を向けられる機会をたくさんいただきました。多職種合同カンファレンスや退院前訪問では、今後の生活を想定し、必要な医療・福祉資源を協力して考えていました。訪問看護や訪問リハビリへの同行、老人保健施設の訪問では、自宅や施設における医療の実際を目の当たりにしました。これからは退院前に今後の生活を想定しながら診療できるようになりたいと思いました。

総合診療科の先生方には優しく熱心に指導していただき、コメディカルや事務の方々にもとても親切に対応していただき、大変有意義な研修を送ることができました。今回の研修を通して学んだことをこれからの豊橋市民病院での医療に生かしていきたいと思えます。

1 ヶ月という短い間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。